

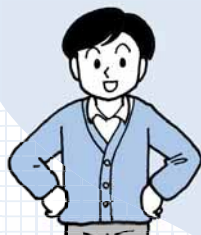
両親教室

パパが主役！ 育児を疑似体験しよう

お父さんが妊婦の大変さを実感することにより、夫婦二人で子育てをしているという意識を持ち、お母さんの出産後も自信を持って育児に参加できるよう、両親教室を夜間に開催しています。

対象時期：妊娠5カ月～

参加者の感想



なかなかできない体験ができて勉強になりました。お風呂が自分の仕事になるよう頑張ります。

胎児の重さくらいのジャケットが想像以上に重くて驚きました。妻への手助けがもっと必要だと考え直しました。



<主な内容>

- お風呂の入れ方実習
- 赤ちゃん抱っこレッスン
- ジャケットを着用した妊婦疑似体験



その他のサポート

【妊産婦歯科健診】

歯科医師、歯科衛生士が、妊産婦の歯科健診や相談を個別に行っています（月1回、予約制）。

【電話相談】

南保健センターでは、保健師・助産師・栄養士など専門の職員が随時電話で相談に応じています。おなかの赤ちゃんのことなどで気になることがあれば、気軽に相談できます（上記妊産婦歯科健診は南保健センターで受け付けていますが、歯に関する電話相談は保健所（☎622-5151）が窓口となっています）。

保健センターの他に保健所も さまざまな支援をしています

【特定不妊治療費助成】

特定不妊治療（体外受精および顕微授精）に要した費用の一部を助成しています。対象となる方、助成の内容、手続きなど詳しくは不妊専門相談センター（☎622-4500）へお問い合わせください。

【産婦人科救急電話相談】

夜間に、助産師が産婦人科に関する救急の相談を毎日行っています（午後7時～翌日午前7時 ☎622-3299）。かかりつけ医がいる場合には、まず、かかりつけ医に連絡するようお願いします。

健診、教室の開催日時やその他保健センターで行っているサービスを詳しくお知りになりたい場合は、南保健センターにお問い合わせください。

この特集のお問い合わせ先

南区健康・子ども課（南保健センター） ☎581-5211

※特定不妊治療費助成について 不妊専門相談センター（☎622-4500）
産婦人科救急電話相談について 保健所医療政策課（☎622-5162）



マタニティマーク

このマークを付けている妊婦さんを見かけたら、思いやりのある気遣いをお願いします。

